

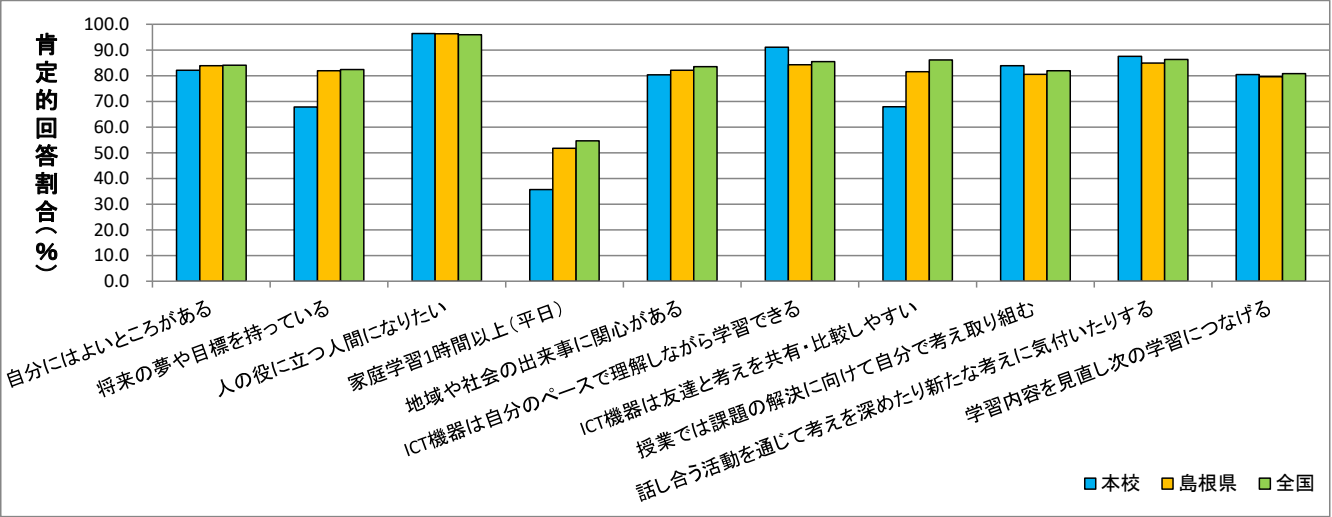
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○適切に選択する問題の正解率は高かった。 ●最後の問題までたどりつかず、無回答の問題があった。 ●言葉の特徴や使い方に関する事項が弱い。	・文章の中での文脈に合った漢字を書く練習をする。 ・主語・述語の関係を「何が」という切り返しなどを通して、根気強く繰り返し練習する。 ・引き続き、情報活用の学習を取り入れる。 ・日頃から読書量が少なく長い文章が読めない子が多いので、読書の機会を意図的に設定する。
算数	○全体に無回答率が低く、短答式や記述式の設問に対してもきちんと自分の考えを書き、問題解決に取り組む姿勢が育ってきている。 ○知識・技能については問題によって全国平均と同等の正答率が見られる。 ●問題文の読み取りが不十分で、基本的なことを問われている問題でも正答を導き出すことができていない。 ●図や式、データなどを活用し理由や考えを説明する力に課題がある。	・他教科とも関連付けながら、問題文を正しく読み取ることができるようにする。 ・自分の考えを図や式、言葉で表現する時間を確保し、ペアやグループで考えを伝え合う活動を充実させる。

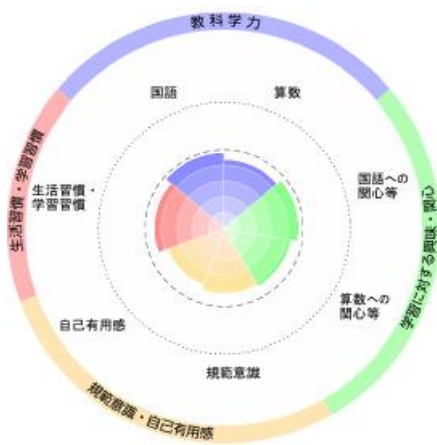
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○「人の役に立つ人間になりたい。」の回答が多い。 ●家庭学習1時間以上(平日)が少ない。 ●ICT機器による友達との考えの共有。	・宿題の量を増やすとともに、自分で学習する時間を増やす。 ・友達と考えの共有について、積極的にICT機器を利用する。

(3)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・校内研究において、「友だちと関わり、主体的に学ぶ子どもの育成～学び合いにより深まる授業づくりをめざして～」の研究主題に沿った授業実践を行う。
- ・思いや考え、感想などを伝え合う場や表現力を培う場の設定をすることによって、コミュニケーション力を高めたり、語彙を増やしたりしていく。
- ・東書webプリント(たつじんプリント)を使った学力向上の取組を全校体制で実施をする。

【受検者数】
56 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。